



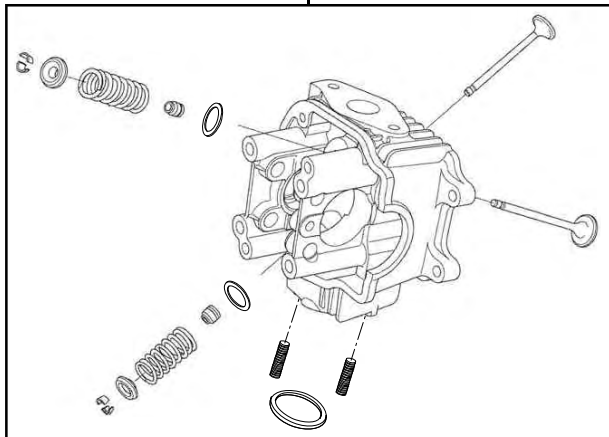

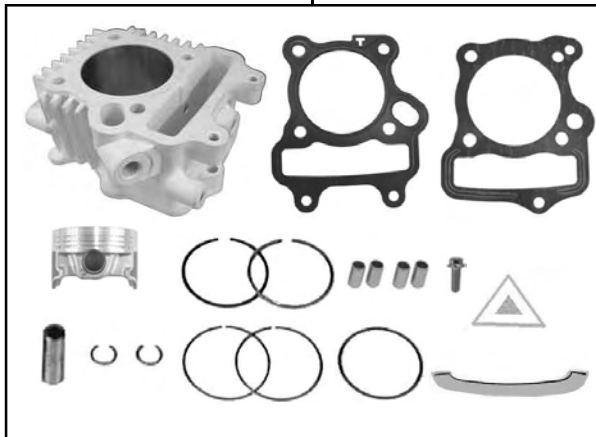


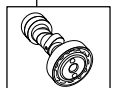

Hyper R-Stage ボアアップキット 88cc

・このたびは、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願いいたします。
 ・この商品は、R ステージ/ボアアップ(52×41.4 88cc)と FI CON PLUS、エアフィルターをセットしたキットです。ご使用に付きましては、各キット内容をお確かめ、各キットの明記事項を遵守頂きます様お願い致します。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

商品番号 01 05 3423
 スーパーカブ50(FI): AA01 1700001~
 リトルカブ50(FI) : AA01 4000001~

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

~キット内容~

01 03 7008 R ステージキット	03 01 1107 エアフィルター	01 04 7003 88ccシリンダーキット	03 05 0030 FI CON PLUS	02 05 051 ドライブプロケット16T
				
QTY: 1	QTY: 1	QTY: 1	QTY: 1	QTY: 1
	01 08 0127 カムシャフトF 10		NGK CR8HSA スパークプラグ#8	
				
	QTY: 1		QTY: 1	

ご使用前に必ずお読み下さい

このキットはクローズド競技用として開発した商品ですので、一般公道では使用しないで下さい。一般公道で使用する場合は、必ず原付2種の登録を行い、道路運送車両法の保安基準を充たし、遵法運転を心掛けて下さい。(原付登録のまま公道を走行したり、道路運送車両法の保安基準を充たさない車両で公道を走行すると、違反となり運転者が罰せられます。)

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。

この製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

当製品を単独で使用した場合、本来の性能が発揮出来ません。別途、当社製マフラーをご使用下さい。

株式会社 **SPECIAL PARTS 武川** 〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
 TEL 0721-25-1357 FAX 0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>
 お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857

R-Stage Head KIT 取扱説明書

商品番号 01 03 7008

Monkey (FI) : AB27 1900001 ~
スーパーカブ50 (FI) : AA01 1700001 ~
リトルカブ50 (FI) : AA01 4000001 ~

・このたびは、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

～ 特 徴 ～

- STDヘッドの雰囲気を残しデザインされたFIエンジン初のビッグバルブヘッド。
- STDヘッドよりバルブ挟み角を変更し燃焼効率を向上。
- インテークポート径を 20 24、インテークバルブ傘径を 20 26、エキゾーストバルブ傘径を 16 22.5とし吸排気効率を向上。
- 不等ピッチシングルバルブスプリングを採用。
- 耐久性に優れたスチールリテーナーを採用。

おことわり

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

▲ 使用燃料についてのご注意 ▲

ノーマルに比べて高圧縮比となるように設定しておりますので、燃料は必ずハイオクタン価ガソリンを使用して下さい。レギュラーガソリンを使用すると、異常燃焼を起こして本来の性能を発揮しない上に、ピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。KIT取り付け前に燃料タンクに残っていたガソリンにも注意して下さい。レギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

▲ スパークプラグについてのご注意 ▲

スパークプラグは必ずCR8HSA (NGK) または、U24FSR-U (DENSO) に交換して下さい。

▲ 急発進・急加速についてのご注意 ▲

空ぶかし、急加速、急激なエンジンブレーキはエンジンに高負荷がかかります。最悪の場合はクランクシャフトが破損し、エンジンを壊してしまう恐れがありますのでご注意下さい。

▲ F.I. コントローラープラスについての注意 ▲

エンジンキットのみで使用されますとエンジンが重大な故障を起こす可能性があります。必ず車両専用のF.I. コントローラープラスをご使用下さい。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
この製品を取り付け、原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり、運転者ご本人が罰せられる対象となります。一般公道を走行される場合は、小型2輪以上の免許を取得し、必ず市町村の役所もしくは市税事務所で原付2種への変更（注：登録手順は各市町村により異なり、当説明書が必要な場合があります。）を行い、道路運送車両法の保安基準を充たし、強制賠償保険等の排気量変更の申請を行って下さい。
この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。商品を加工等された場合や取り付けされた場合は、保証の対象にはなりません。
他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
シリンダーヘッドにシリアルNo. を刻印しています。部品注文時にシリアルNo. が必要になる場合があります。
当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
取り付けの際には、工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用的な専門店へご依頼されることをお勧め致します。
ボルト、ナット、ロックピンは再使用しますが、摩耗、損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。
燃料は必ず無鉛ハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。
このパーツはクロード競技用として開発した商品ですので、一般公道では使用しないで下さい。一般公道で使用する場合は、必ず道路運送車両法の保安基準を充たし、違法運転を心掛けて下さい。
(道路運送車両法の保安基準を充たさない車両で公道を走行すると、違反となり運転者が罰せられます。)
レース等でご使用の場合は、いかなる場合もクレームは一切お受け出来ません。ご了承下さい。

注意 この表示の内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・このパーツはクローズド競技用として開発した商品ですので、一般公道では使用しないで下さい。一般公道で使用する場合は、必ず原付2種の登録を行い、道路運送車両法の保安基準を充たし、遵法運転を心掛けて下さい。
(原付登録のまま公道を走行したり、道路運送車両法の保安基準を充たさない車両で公道を走行すると、違反となり運転者が罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。35以下。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、十分注意して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。(部品の摩耗や損傷等で、エンジントラブルの原因となります。)

警告 この表示の内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・技術、知識の無い方は、作業を行わないで下さい。(技術、知識不足による作業ミスで、部品破損により、事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ、安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・ガソリンは非常に引火しやすい為、一切の火気を避け、燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。(火災の原因となる恐れがあります。)
- ・規定トルクは必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルト及びナットの破損、脱落等で事故につながる恐れがあります。)
- ・指示部品以外の部品の使用は、一切行わないで下さい。(部品破損により、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け、損傷部品の交換を行ってください。
(そのまま使用すると、部品破損により、事故につながる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・走行前は必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みの有無を確認し、緩みがあれば規定トルクで増し締めを行ってください。
(部品脱落等で、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・燃料は必ずハイオクタン価ガソリンを使用して下さい。(ノッキング等のトラブルで事故につながる恐れがあります。)

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させていただきます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。あらかじめご了承下さい。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

走行前の注意

使用燃料について

燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

このキットを取り付けると遠心フィルターがなくなります。外部オイルフィルター付の乾式クラッチ又はスペシャルクラッチを装着して下さい。スプロケットの変更

このキットを取り付けると出力がアップします。ノーマルのスプロケットのままではローギアすぎて各部の磨耗が激しくなり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。スプロケットのハイギア化を行ってください。

このキット単体では使用することは出来ません。

専用のボアアップキットをご購入下さい。

(フルキット購入時除く)

その他

オイルクーラー

このキットを取り付けると出力アップに伴い、エンジン発熱量が増大します。エンジンに長時間の負荷を与える走行には、油温を適切に保ち、高温時に発生する油膜切れ等を防止するオイルクーラーキットの装着をお薦めします。

カムシャフトについて

シリンダーヘッドキット単品にてご購入された場合は、別途専用カムシャフトが必要です。カムシャフトは用途や排気量によって数種類のプロファイルを用意しております。又、フルキットにて購入され同梱されているカムシャフト以外に、オプション品として検討して頂けます。

シリンダーヘッドには、管理NoとしてヘッドNo(シリアル)を打刻してあります。

リペアパーツ発注時、このヘッドNoが必要となる場合があります。リペア品番がわからない等で、リペアパーツが発注出来ない時は、下記の例を参考に発注して下さい。

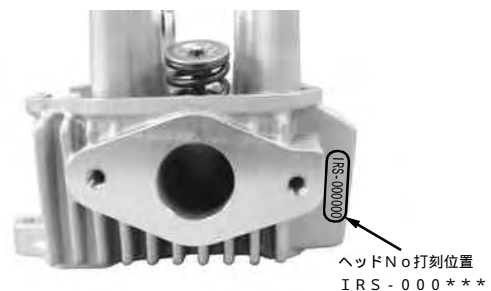
シリンダーヘッドに打刻してあるNoをひかえる。

ヘッドNo - IRS - 000001

発注例 シリンダーヘッドキット、リペア

ヘッドNo - IRS - 000001 インテークバルブ

数量 1本

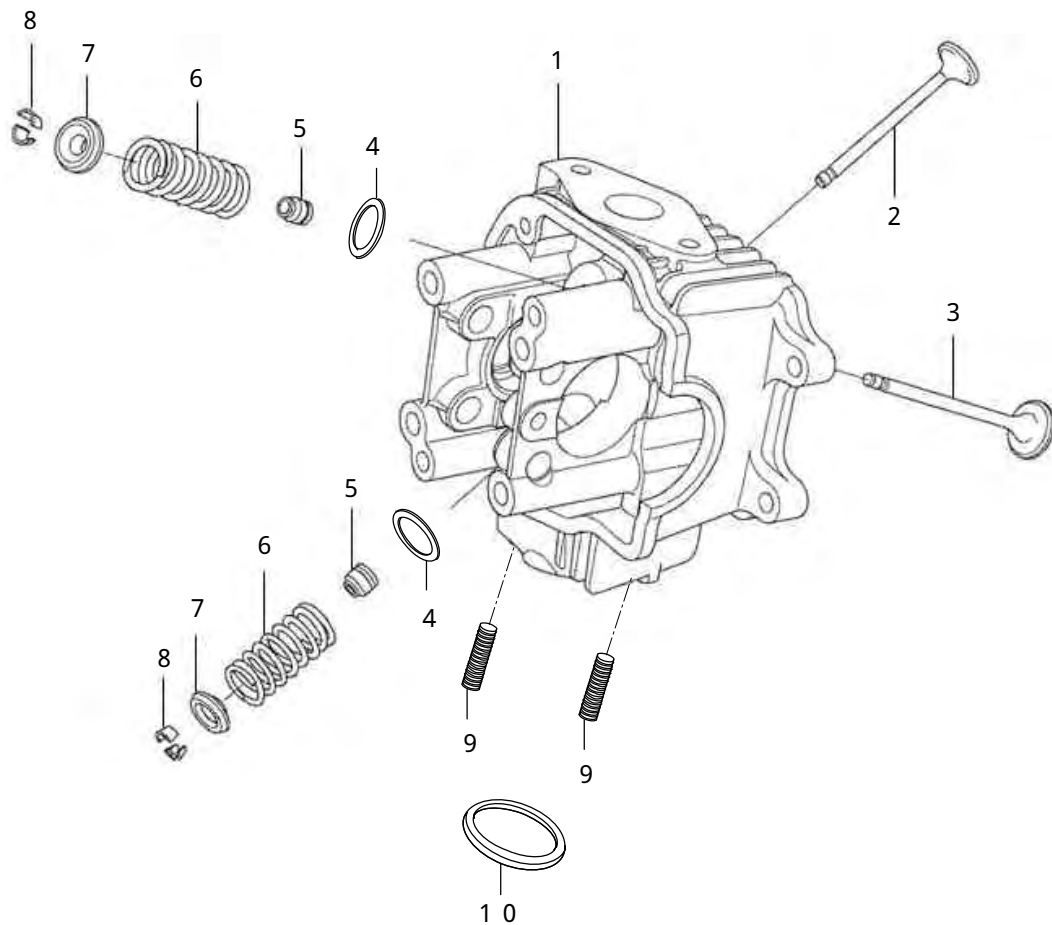


使用回転数について

使用最高回転数は12000rpmです。12000rpm以下でご使用下さい。

(12000rpm以上で使用されると、エンジンに悪影響を与えるだけでなく、最悪の場合エンジンが破損します。)

~ 商 品 内 容 ~



番号	部 品 名	数量	リペア品番	入数
1	シリンダーヘッド	1	—	1
2	インテイクバルブ	1	1 4 7 1 0 G B J T 0 0	1
3	エキゾーストバルブ	1	1 4 7 2 0 G B J T 0 0	1
4	バルブスプリングアウターシート	2	0 0 0 1 0 0 0 2	2
5	バルブステムシール	2	0 0 0 1 0 0 1 5	2
6	バルブスプリング	2	0 1 1 2 0 1 0 2	2
7	バルブスプリングリテーナー	2	0 0 0 1 0 1 0 2	2
8	バルブコッタ	4	0 0 0 1 0 0 1 8	4
9	スタットボルト 6 × 3 2	2	0 0 0 1 0 0 7 3	2
1 0	エキゾーストパイプガスケット	1	0 0 0 1 0 0 6 4	2

リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。
 あらかじめご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

株式会社 **SPECIAL PARTS** 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
 TEL 0721-25-1357 FAX 0721-24-5059
 お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857
 URL <http://www.takegawa.co.jp>

～取 り 付 け 要 領～

1 シリンダーヘッド組み立て

ノーマルヘッドよりストッパープレート、ロッカーアーム、ロッカーアームシャフトを取り外す。



ストッパープレート



R-Stageヘッドにキット内のカムシャフトを取り付ける。カムシャフト・カムシャフトベアリングにきれいなエンジンオイルを塗布する。入りにくくてもハンマー等でたたかずに入れる。

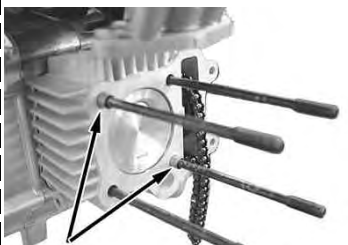
ノーマルカムに付いていたノックピンをキットのカムに取り付ける。ノーマルヘッドより取り外したロッカーアーム、ロッカーアームシャフト、ストッパープレートを取り付ける。

ストッパープレートボルト $12\text{ N}\cdot\text{m}$ ($1.2\text{ kgf}\cdot\text{m}$)
ロッカーアームシャフトがロッカーアームに取り付け出来ない場合は、ロッカーアームのアジャスティングスクリューを緩める。



2 シリンダーヘッド取り付け

シリンダーヘッド面とシリンダー上面をシンナー等で脱脂する。シリンダーキット内のノックピンを取り付けヘッドガスケットを取り付ける。

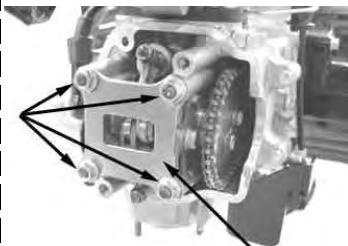


シリンダーヘッドをカムチェーンとスタッドボルトを通して取り付ける。



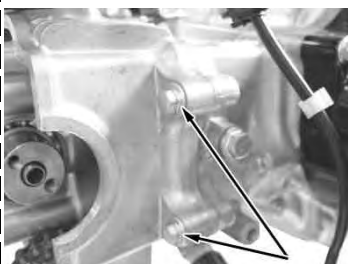
シリンダーヘッドプレートを組み付け、ヘッドナットを均等に締め付ける。

締め付けトルク $14\text{ N}\cdot\text{m}$ ($1.4\text{ kgf}\cdot\text{m}$)



シリンダーヘッドプレート

ヘッドサイドボルトを取り付ける。先に仮止めしていたガイドローラーボルトとシリンダーサイドボルトを締め付ける。



締め付けトルク

ガイドローラーボルト

$10\text{ N}\cdot\text{m}$ ($1.0\text{ kgf}\cdot\text{m}$)

サイドボルト上下

$10\text{ N}\cdot\text{m}$ ($1.0\text{ kgf}\cdot\text{m}$)

ガイドローラーボルト



サイドボルト

3 カムスプロケットの取り付け

フライホイールのTマークをクランクケースの切り欠き部に合わせ、ピストンを圧縮上死点に合わせる。カムスプロケットボルト穴をシリンダーヘッドの切り欠き方向に向けたときカム山がピストン側を向く様にカムシャフトをセットする。それがカムシャフトの圧縮上死点です。



切り欠き

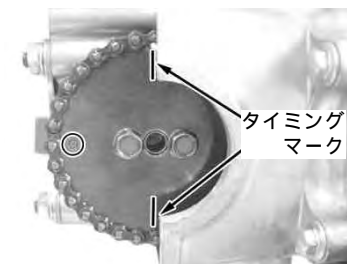
Tマーク

チェンジベダルシャフトの横にある六角ボルトを取り外す。(カムチェーンテンショナーが緩むのでカムチェーンが取り付け易くなります。)



少しオイルが出てきますので締めた後は拭き取って下さい。

カムスプロケットの'O'マークを前方方向に向け、タイミングマークをシリンダーヘッドカバー合わせ面に合わせ、各切り欠き部が合う様にカムチェーンを掛け、カムシャフトに取り付ける。



タイミングマーク

フライホイールを固定してカムスプロケットボルトを2本締め付ける。

締め付けトルク

$9\text{ N}\cdot\text{m}$ ($0.9\text{ kgf}\cdot\text{m}$)



チェンジベダルシャフトの横に先程外したボルトを取り付け、締め付ける。

締め付けトルク

$10\text{ N}\cdot\text{m}$ ($1.0\text{ kgf}\cdot\text{m}$)



4 スパークプラグ・油温センサ・O₂センサの取り付け

プラグを取り付ける。

締め付けトルク

$16\text{ N}\cdot\text{m}$ ($1.6\text{ kgf}\cdot\text{m}$)



プラグキャップをプラグに取り付ける。

油温センサを取り付け、センサガードを取り付ける。油温センサを取り付ける際、ネジ部にオイルを塗布し、新品のシーリングワッシャを使用する。

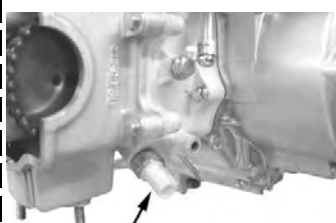
締め付けトルク

センサ: $14.5\text{ N}\cdot\text{m}$

($1.5\text{ kgf}\cdot\text{m}$)

ガード: $10\text{ N}\cdot\text{m}$

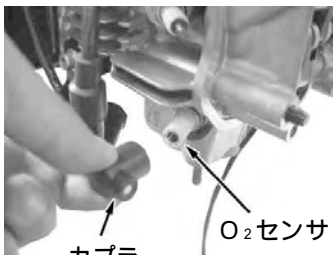
($1.0\text{ kgf}\cdot\text{m}$)



O₂センサを取り付け、カブラを取り付ける。

締め付けトルク

24.5 N・m
(2.5 kgf・m)



カブラ O₂センサ

**5 .バルブタイミング調整と
タペット隙間の調整**

クランクシャフトを時計回りに2回転し、フライホイールのTマークとケースの切り欠き部とタイミングスプロケットマークが前方を向いた状態で合わせマークが合っているかを確認する。



タイミングマーク



切り欠き Tマーク

ロッカーアームのタペットアジャスティングスクリューを締め込んでいきタペットアジャスティングスクリューとバルブステムエンドの間にシクネスゲージを入れて少し抵抗があるくらいで引き抜ける様に合わせてタペットアジャスティングナットを締め付ける。

締め付けトルク

9 N・m (0.9 kgf・m)

バルブクリアランス

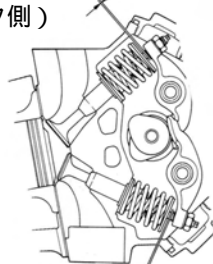
IN側 0.10mm

EX側 0.12mm

1.4mmボックスレンチ&中ロングジョイントでクランクを合わせる。タペット調整後、反時計方向にフライホイールを2回転した後でTマークとOマークタイミングマークを合わせる。

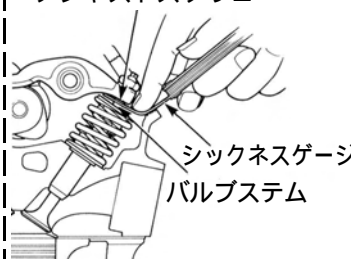
タペットすき間が変化していないか点検し、すき間が合っていればOK、くるっている場合は調整する。この作業を合うまで繰り返して下さい。

**バルブクリアランス
(インテーク側)**

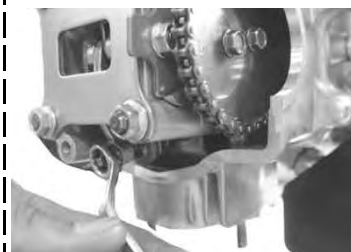


**バルブクリアランス
(エキゾースト側)**

アジャストスクリュー



シクネスゲージ
バルブステム

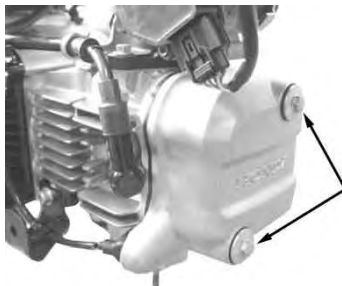


**6 .シリンダーヘッドカバー
取り付け**

シリンダーヘッドカバーとガスケットを取り付ける。

締め付けトルク

12 N・m (1.2 kgf・m)



7 .マフラーの取り付け

マフラーキットの取り付け要領に従い取り付けます。

**8 .インレットパイプの取り付け
モンキー (FI) の場合**

O₂センサーステー2つを取り付ける。

締め付けトルク

10 N・m (1.0 kgf・m)

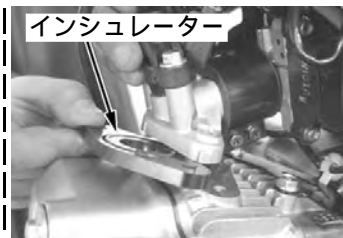


シリンダーヘッドとインレットパイプを止めているボルト2本を取り付ける。

締め付けトルク

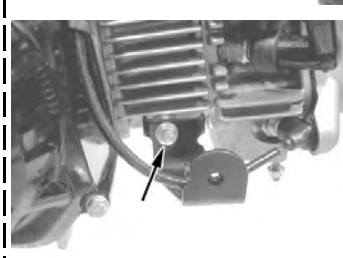
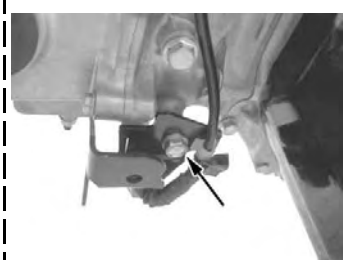
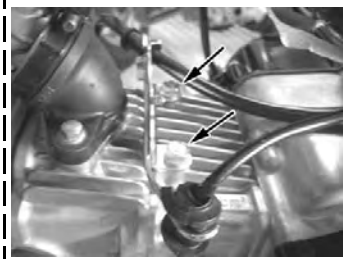
10 N・m (1.0 kgf・m)

インシュレーター



**スーパーカブ50 (FI)
リトルカブ50 (FI) の場合**

ホーンステー、左右のフロントカバーステーを取り付ける。

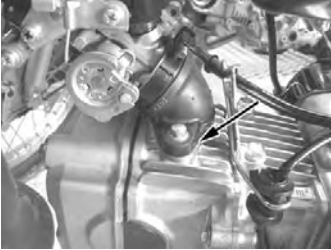


シリンダーヘッドとインレットパイプを止めているボルト2本を取り付ける。

締め付けトルク

$10\text{ N}\cdot\text{m}$ ($1.0\text{ kgf}\cdot\text{m}$)

スーパーカブ50 (FI)、リトルカブ50 (FI) の場合インシュレーターは不要です。



9 ホールキャップの取り付け

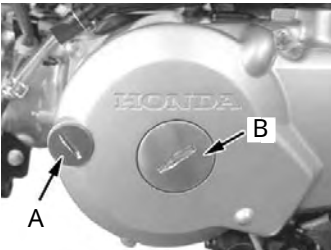
A、Bの2つを取り付け、締め付けます。

締め付けトルク

A $1.5\text{ N}\cdot\text{m}$
($0.15\text{ kgf}\cdot\text{m}$)

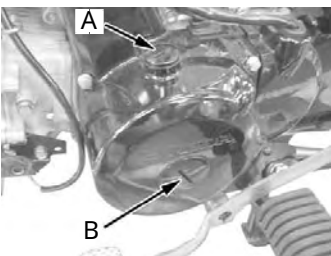
B $3\text{ N}\cdot\text{m}$
($0.3\text{ kgf}\cdot\text{m}$)

モンキー (FI)



スーパーカブ50 (FI)

リトルカブ50 (FI)



チェーンペダルを取り付ける。

締め付けトルク

$10\text{ N}\cdot\text{m}$ ($1.0\text{ kgf}\cdot\text{m}$)

エンジンやマフラー、インレットパイプ等、今まで付けたボルト類に緩みが無いか確認する。

**10 . F I コントローラーの
取り付け**

FI コントローラーの取り付け要領に従い、コントローラーを取り付ける。

⚠ 警告

このシリンダーマニュアルは基本的な技能や知識を持った人を対象としておりますので、技術、知識の無い方は作業を行わないで下さい。

シリンダーヘッド整備諸元表

項目	標準	使用限度	備考
バルブクリアランス IN	0.10 ± 0.02 mm	—————	
EX	0.12 ± 0.02 mm	—————	
シリンダーヘッド歪み	—————	0.05 mm	交換
バルブロッカーアームの内径 IN	10.000 ~ 10.015 mm	10.019 mm	交換
EX	10.000 ~ 10.015 mm	10.017 mm	交換
ロッカーアームシャフト外径 IN	9.972 ~ 9.987 mm	9.968 mm	交換
EX	9.972 ~ 9.987 mm	9.970 mm	交換
ロッカーアームとシャフトの隙間 IN / EX	0.013 ~ 0.043 mm	0.05 mm	交換
バルブガイド内径 IN / EX	—————		ガイド交換又はヘッド交換
バルブステム外径 IN	—————	4.42 mm	交換
EX	—————	4.40 mm	交換
バルブステムとガイドの隙間 IN	0.01 ~ 0.037 mm	0.09 mm	
EX	0.025 ~ 0.060 mm	0.12 mm	
バルブシート当たり幅 IN	—————	1.5 mm	修正又はヘッド交換
EX	—————	1.7 mm	修正又はヘッド交換
バルブスプリング自由長	—————	30.5 mm	交換
バルブスプリングリテーナー IN / EX	—————	損傷	交換

トルクの単位記述

1 kgf・m = 9.80665 N・m (ニュートンメートル)

モリブデン溶液 マーク (MO-OIL)

モリブデングリースとエンジンオイル1:1の割合で混合して作る。

モリブデン溶液塗布指示部には、モリブデン溶液、又は、アッセンブリペーストを塗布すること。

オーバーホール毎交換品 マーク (NEW)

分解毎に新品と交換する必要がある部品を示すので、必ず交換すること。

アルミスPECIAL(耐熱潤滑ペースト) マーク (AL-SPL)

・アルミスPECIAL=耐熱潤滑ペースト、高温、重荷重のカジリ、溶着を防止するグリース。

(用途、スパークプラグ、エキゾーストマニホールド等高温部に効果的)

指示無き部分には塗布しないこと。

バルブの分解

バルブスプリングコンプレッサーを使用して、バルブスプリングを圧縮する。

⚠注意：必要以上バルブスプリングを圧縮しないこと。

専用工具：バルブスプリングコンプレッサー

品番00-01-07

バルブスプリングコンプレッサーSET

品番00-01-1005



バルブコッタを外す。

コッタが外れにくい時は、磁石を使用して外す。

バルブスプリングコンプレッサーを外し、以下の部品を取り外す。

- ・バルブスプリングリテーナー
- ・バルブスプリング(インナー/アウター)
- ・バルブ

各バルブの曲がり、焼き付き、損傷を点検する。

バルブステムの外径のガイド摺動面をマイクロメーターで測定する。

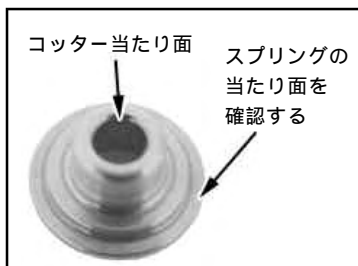
使用限度 IN: 4.42mm EX: 4.40mm
曲がり、キズ、損傷のある物は交換する。



バルブスプリングリテーナーの点検

バルブスプリングリテーナーの各部の損傷を確認する。

損傷のある場合、交換する。



バルブシートの点検

・シリンダーヘッド燃焼室及びバルブのカーボン堆積物を取り除く。

・バルブフェースに光明丹をオイル等で溶かし、均一に薄く塗布する。

・バルブたこを使用して、バルブを軽く1回打ち、回転させる。

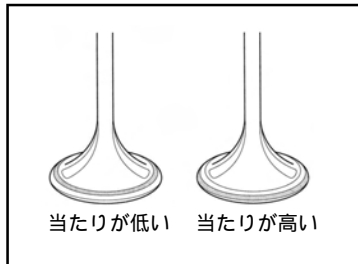
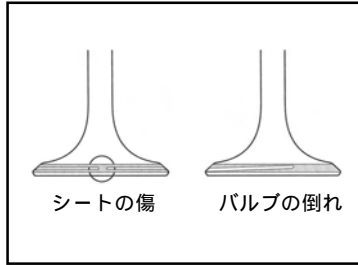
・バルブフェースに付着した光明丹を拭き取り、バルブたこを使用してバルブを回さずに軽く1回打ち、当たり面を確認する。



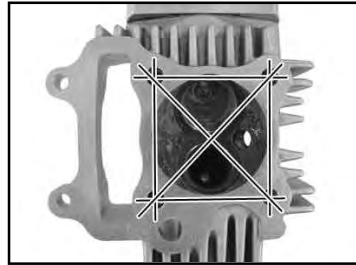
インスペクション/マニュアル

(ヘッドNO. IRS 00097~)

- ・バルブシートに傷がある場合は、シートを修正する。
- ・当たり幅が広い、狭い、高い、又は低い場合は、シートを修正する。
- ・修正は、内然機関専門店又は、当社まで依頼する。

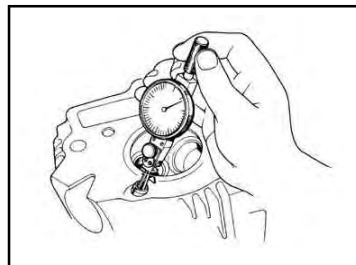


- シリンダーヘッドの点検
- ・スパークプラグ穴、バルブ穴付近の亀裂を確認する。
- シリンダーヘッドの歪みをストレートエッジとシッケネスゲージで点検する。



使用限度：0.05mm以上交換

- バルブガイドの点検
- ・バルブガイド内径を測定する。
- 使用限度 IN: 4.56mm EX: 4.57mm
- ・キズ、損傷のある物はバルブガイド交換又は、シリンダーヘッドを交換する。



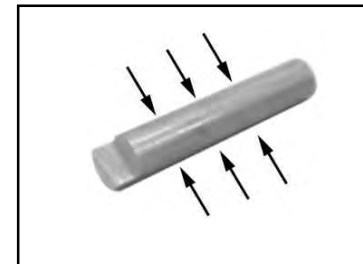
各バルブガイド内径からバルブステム外径引いた値がガイド隙間である。

使用限度 IN: 0.09mm EX: 0.12mm

- ロッカーアームの点検
- ・ロッカーアームの傷、損傷、詰まりを点検する。
 - ・ロッカーアームの内径を測定する。
- IN: 10.019mm
EX: 10.017mm 以上交換

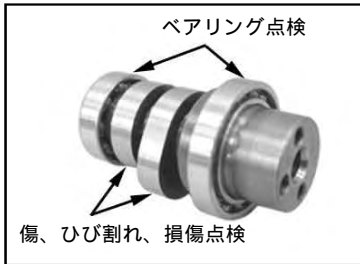


- ロッカーアームシャフトの点検
- ・ロッカーアームシャフトの曲がり、傷、損傷を点検する。
 - ・ロッカーアームシャフトの外径を測定する。
- IN: 9.968mm
EX: 9.970mm 以下交換
- ・ロッカーアームとロッカーアームシャフトの隙間を計算する。
- 0.05mm以上交換



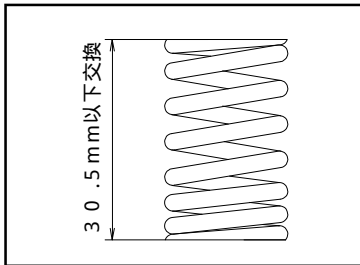
カムシャフトを点検

- ・カムシャフトの傷、ひび割れ、損傷を点検する。
- ・各カム山を点検する。
- ・カムシャフトのベアリングを点検する。
ベアリングのアウトレースを指で回し、滑らかに回らない、アウトレースにガタがある場合、カムシャフトを交換する。



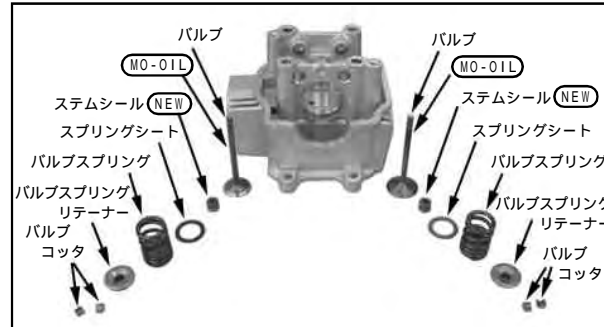
バルブスプリングの点検

- ・バルブスプリングの傷、損傷を点検する。
- ・バルブスプリングの自由長を測定する。
アウター：30.5mm以下交換



バルブ組み立て

- ・シリンダーヘッドを洗浄する。
- ・バルブスプリングシート、新品のバルブステムシールを取り付ける。
- ・バルブステム摺動面にモリブデン溶液を塗布し、ステムシールが損傷しない様ゆっくり回しながらバルブをバルブガイドに差し込む。



- ・バルブスプリングのピッチの小さい方を燃焼室側に向けて、バルブスプリングを取り付ける。

⚠注意：必ずピッチの小さい方を燃焼室側に向けること。



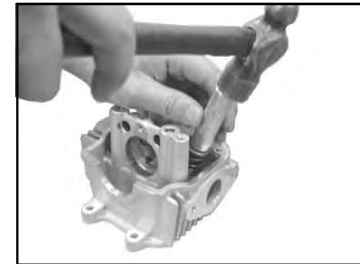
- ・バルブスプリングコンプレッサーを使用してバルブスプリングを圧縮し、バルブコッタに少量のグリスを塗布しバルブコッタを取り付ける。

⚠注意：必要以上バルブスプリングを圧縮しないこと。



- ・バルブステム先端を軽く2～3回たたき、バルブとコッタのなじみを良くする。

⚠注意：バルブを損傷しない様、注意すること。





CAM SHAFT 取扱説明書

商品番号：01 08 0127 (F 10)
01 03 7008 Rステージヘッド専用。
ノーマルエンジンには取り付け出来ません。

この度は、当社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
このカムシャフトは、Rステージのパワーを最大限に引き出すための専用のカムシャフトです。
ご使用につきましては、説明書をよくお読みになって、指示を必ず守りご理解した上でご使用下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

注意 下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を使用して行って下さい。
(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・タコメーターを必ず使用し、指定回転数以下でご使用下さい。
(オーバーレブは、エンジンに悪影響を与えるだけでなくエンジン破損の原因となります。)
- ・点検、整備は、定期的に行って下さい。
(点検、整備を怠るとエンジン破損の原因につながります。)
- ・点検、整備を行った際、損傷部品があれば、必ず損傷部品の交換をして下さい。
(損傷部品の使用を続けると、エンジン破損の原因につながります。)

警告 下記内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。
(そのまま、走行すると事故につながる恐れがあります。)
- ・エンジンを運転する場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では行わないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、エンジンを安定させ、安全に作業を行って下さい。
(不安定な状態での作業は、エンジン等が倒れてケガをする恐れがあります。)

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

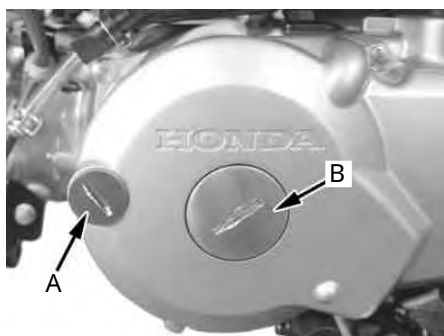
～ 商 品 内 容 ～



品 名	個数
カムシャフトCOMP.	1

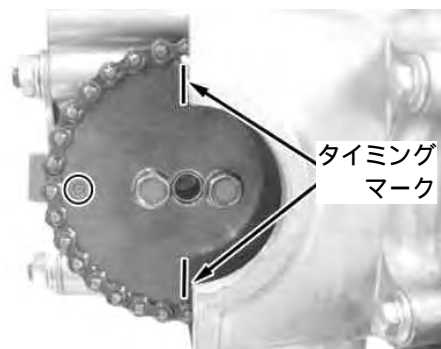
～取 り 付 け 要 領～

クランクケース左カバー取り外す
A、Bの2つを反時計回りに回して外す。

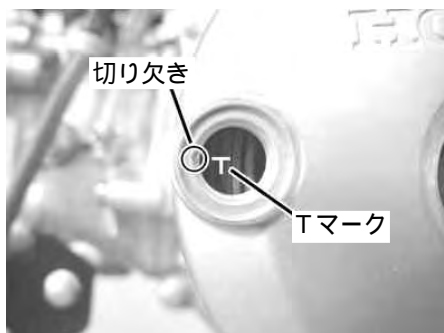


カムスプロケットを取り外す

フライホイールのTマークとカムスプロケットのOマークを前方に向け、タイミングマークをシリンダーヘッド側面に合わせ、各切り欠きに合う様にフライホイールを反時計方向に回転させて合わせる。



タイミング
マーク



切り欠き

Tマーク

チェンジベダルシャフトの横にある六角ボルトを取り外す。

(カムチェーンテンショナーが緩むのでカムチェーンが取り付け易くなります。)



少しオイルが出てきますので締め後は拭き取って下さい。

フライホイールを固定しカムスプロケット六角ボルト2個を反時計方向に回し取り外す。



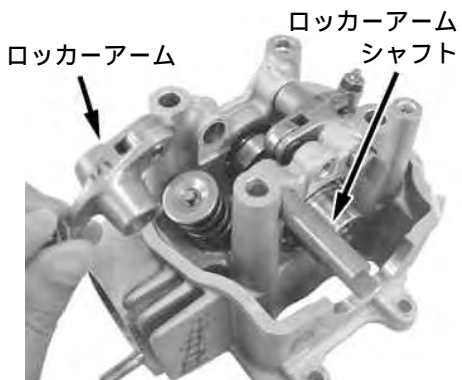
カムスプロケットをカムシャフトから外す。カムチェーンをカムスプロケットから外してカムスプロケットを取り出す。カムシャフトの中心部にはまっているロックピンを外す。(ロックピンは再使用する。)



シリンダーヘッドよりストッパープレート、ロッカーアーム、ロッカーアームシャフトを取り外す。



ストッパープレート



ロッカーアーム

ロッカーアーム
シャフト

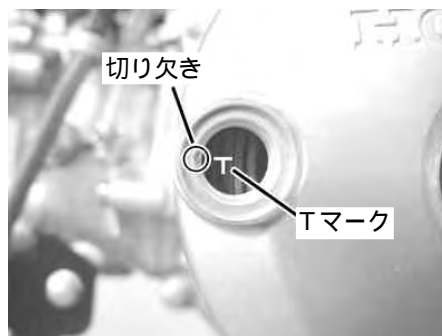
キットのカムシャフトを取り付ける。カムシャフト・カムシャフトベアリングにきれいなエンジンオイルを塗布する。入り口にくくてもハンマー等でたたかず手に入れる。ノーマルカムに付いていたロックピンをキットのカムに取り付ける。取り外したロッカーアーム、ロッカーアームシャフト、ストッパープレートを取り付け。ストッパープレートボルト
12 N・m (1.2 kgf・m)
ロッカーアームシャフトがロッカーアームに取り付け出来ない場合は、ロッカーアームのアジャスティングスクリューを緩める。



カムスプロケットの取り付け

フライホイールのTマークをクランクケースの切り欠き部に合わせ、ピストンを圧縮上死点に合わせる。

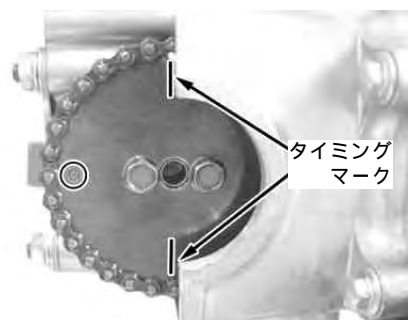
カムスプロケットボルト穴をシリンダーヘッドの切り欠き方向に向けたときカム山がピストン側を向く様にカムシャフトをセットする。それがカムシャフトの圧縮上死点です。



切り欠き

Tマーク

カムスプロケットの'O'マークを前方方向に向け、タイミングマークをシリンダーヘッドカバー合わせ面に合わせ、カムチェーンをかける。



タイミング
マーク

フライホイールを固定してカムスプロケット
ボルトを2本締め付ける。

締め付けトルク

$9\text{ N}\cdot\text{m}$ ($0.9\text{ kgf}\cdot\text{m}$)



チェンジベダルシャフトの横に先程外したボ
ルトを取り付け、締め付ける。

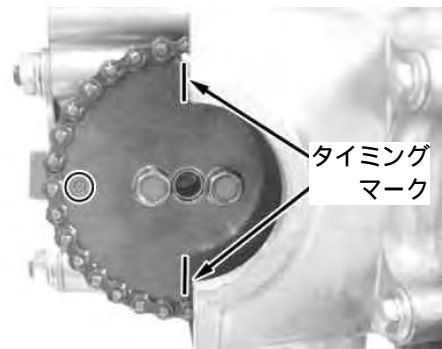
締め付けトルク

$10\text{ N}\cdot\text{m}$ ($1.0\text{ kgf}\cdot\text{m}$)

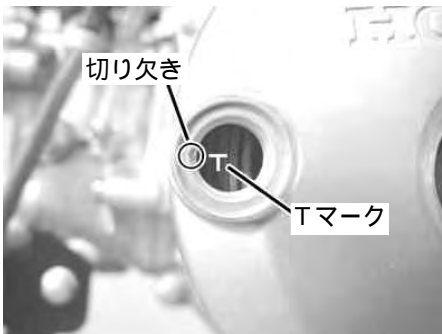


バルブタイミング調整とタペット隙間の調整

クランクシャフトを時計回りに2回転し、フ
ライホイールのTマークとケースの切り欠き
部とタイミングスプロケットマークが前方を
向いた状態で合わせマークが合っているかを
確認する。



タイミング
マーク



切り欠き

Tマーク

ロッカーアームのタペットアジャスティングス
クリューを締め込んでいき、タペットアジャ
スティングスクリューとバルブステムエンドの間
にシクネスゲージを入れて少し抵抗がある
くらいで引き抜ける様に合わせてタペットア
ジャスティングナットを締め付ける。

IN側 0.10 mm

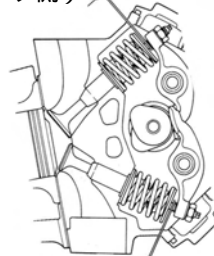
EX側 0.12 mm

14mmボックスレンチ&中ロングジョイント
でクランクを合わせる。

タペット調整後、反時計方向にフライホイール
を2回転した後でTマークとOマークタイミ
ングマークを合わせる。

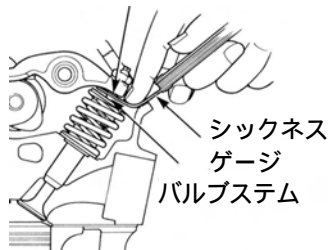
タペットすき間が変化していないか点検し、す
き間が合っていればOK、くるっている場合は
調整する。この作業を合うまで繰り返して下さ
い。

バルブクリアランス
(インテーク側)

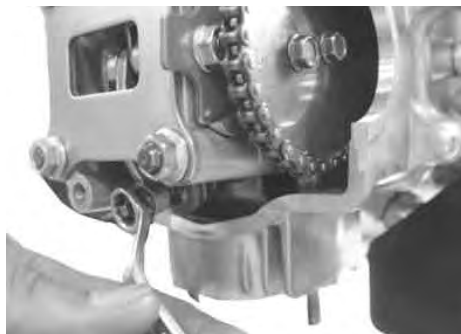


バルブクリアランス
(エキゾースト側)

アジャストスクリュー



シクネス
ゲージ
バルブステム



株式会社 **SPECIAL PARTS 武川**

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357 FAX 0721-24-5059

お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857

URL <http://www.takegawa.co.jp>

R-Stage Cylinder KIT (8 8 c c) 取扱説明書

シリンダーはセラミックメッキシリンダーを採用。
ピストンにはMo (モリブデン) コートを施しています。
また、オイル取り出しが可能なボスが付いており、シリンダーのオイル
ラインよりオイルの取り出しが可能です。

商品番号 : 01 04 7003 (シリンダーキット)
 : 01 02 7002 (ピストンキット)
適応車種及びフレーム番号
Monkey (FI): AB27 1900001 ~
(R Stage 装着車用)

- ・このたびは、弊社商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

おことわり

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

▲ 商品についてのご注意 ▲

この商品は上記適応車種に対応したシリンダーキットです。それ以外のシリンダーヘッドには取り付け出来ません。

▲ 使用燃料についてのご注意 ▲

ノーマルに比べて高圧縮比となるように設定しておりますので、燃料は必ずハイオクタン価ガソリンを使用して下さい。レギュラーガソリンを使用すると、異常燃焼を起こして本来の性能を発揮しない上に、ピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。KIT取り付け前に燃料タンクに残っていたガソリンにも注意して下さい。レギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

▲ 急発進・急加速についてのご注意 ▲

空ぶかし、急加速、急激なエンジンブレーキはエンジンに高負荷がかかります。最悪の場合はクランクシャフトが破損し、エンジンを壊してしまう恐れがありますのでご注意ください。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

商品を加工等された場合や取り付けされた場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

このパーツはクロード競技用として開発した商品ですので、一般公道では使用しないで下さい。一般公道で使用する場合は、必ず道路運送車両法の保安基準を充たし、違法運転を心掛けて下さい。

(道路運送車両法の保安基準を充たさない車両で公道を走行すると、違反となり運転者が罰せられます。)

当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。

取り付けの際には、工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用的な専門店へご依頼されることをお勧め致します。

ボルト、ナット、ノックピンは再使用しますが、摩耗、損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。

燃料は必ず無鉛ハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。

この製品を取り付け、原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり、運転者ご本人が罰せられる対象となります。一般公道を走行される場合は、小型2輪以上の免許を取得し、必ず市町村の役所もしくは市税事務所で原付2種への変更(注:登録手順は各市町村により異なり、当説明書が必要な場合があります。)を行い、道路運送車両法の保安基準を充たし、強制賠償保険等の排気量変更の申請を行って下さい。

レース等でご使用の場合は、いかなる場合もクレームは一切お受け出来ません。ご了承下さい。

注意 この内容を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

・このパーツはクロード競技用として開発した商品ですので、一般公道では使用しないで下さい。一般公道で使用する場合は、必ず道路運送車両法の保安基準を充たし、違法運転を心掛けて下さい。

(道路運送車両法の保安基準を充たさない車両で公道を走行すると、違反となり運転者が罰せられます。)

・作業を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)

・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)

・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)

・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)

・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。

(部品の脱落の原因となります。)

シリンダーヘッドは、必ず指定トルクで増し締めを行って下さい。

・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

警告

この内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

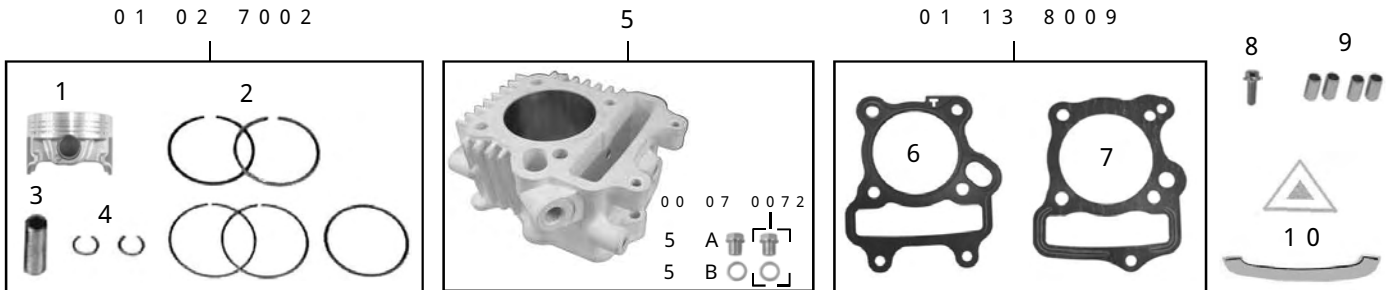
- ・エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、換気の良い場所で作業を行って下さい。

性能、デザイン、価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は、交換させて頂きます。正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいますよう、お願い致します。

～ 商 品 内 容 ～



番号	部 品 名	個数	リペア品番	入数
1	ピストン(Moコーティング)	1	1 3 1 0 1 I R S T 0 0 R	1
			1 3 1 0 1 I R S T 0 0 Y	1
			1 3 1 0 1 I R S T 0 0 B	1
2	ピストンリング	1	1 3 0 1 1 1 8 1 T 1 0	1
3	ピストンピン	1	0 0 0 1 0 0 9 1 (クリップ付)	1 set
4	ピストンピンサークリップ	2	0 0 0 1 0 0 0 3	6
5	シリンダーASSY.	1	1 2 1 0 0 G B J T 0 1	1
5 A	オイルプラグボルト	2	9 0 1 4 5 G E Y T 0 0	1
5 B	シーリングワッシャ 10mm	2	0 0 0 7 0 0 1 0	10
6	シリンダーヘッドガスケット	1	0 1 1 3 8 0 0 9	1 set
7	シリンダーガスケット	1		
8	フランジボルト 6 x 2.5	1	0 0 0 0 0 1 1 5	5
9	ノックピン 8 x 1.4	4	0 0 0 0 0 1 9 4	2
10	原付2種マークセット	1		

リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。あらかじめご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

株式会社 **SPECIAL PARTS** 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
 TEL 0721-25-1357 FAX 0721-24-5059
 お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857
 URL <http://www.takegawa.co.jp>

～取り付け要領～

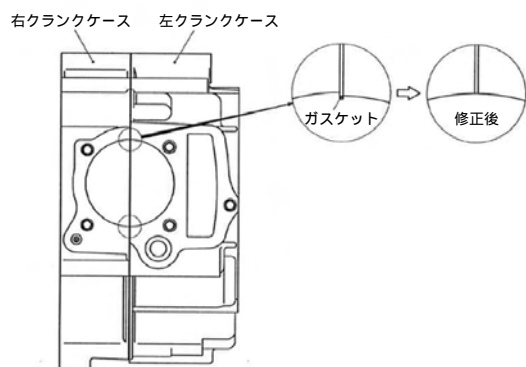
⚠ 注意：トルクレンチを必ず用意し、確実に規定トルクを守り作業を行う事。

⚠ 警告：技術、知識の無い方は、作業を行わない事。

エンジン脱着、クランクケース分割等の作業が必要となる商品があります。ホンダ純正サービスマニュアルを必ず参照し、確実に作業を行なって下さい。

サービスマニュアルに従い、エンジンをフレームから取り外し、エンジンを分解します。

クランクケースをボーリング加工する必要は無いですが、クランクケースの個体差でシリンダスリーブと干渉してしまう可能性があるため、クランクケースを修正します。

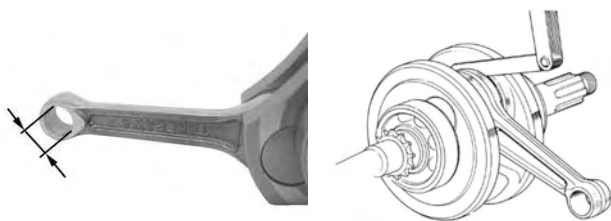


各部品の点検を行います。

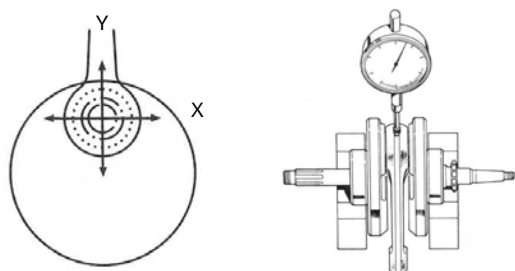
⚠ 注意：各部の点検、消耗品の確認交換は確実に行う事。

点検項目

- ・コンロッド小端部の内径を測定する。
13.10 mm以上交換
- ・コンロッド大端部軸方向隙間を測定する。
0.45 mm以上交換



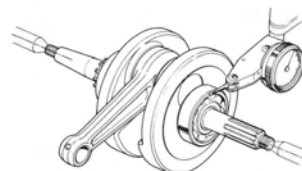
- ・コンロッド大端部軸直角2方向のガタを測定する。
0.012 mm以上交換



- ・クランクシャフトのジャーナルベアリングのガタを測定する。

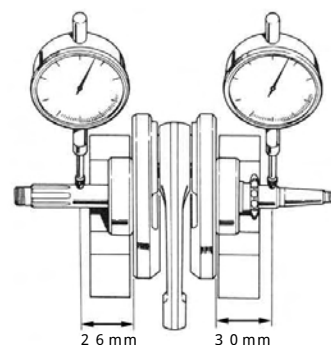
軸方向：0.10 mm以上交換

軸受け方向：0.05 mm以上交換



- ・クランクシャフトの振れを測定する。

0.03 mm以上交換



- サービスマニュアルに従いクランクケースを組み立てます。

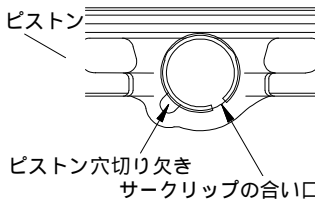
～シリンダー取り付け要領～

1. ピストンを組み付ける

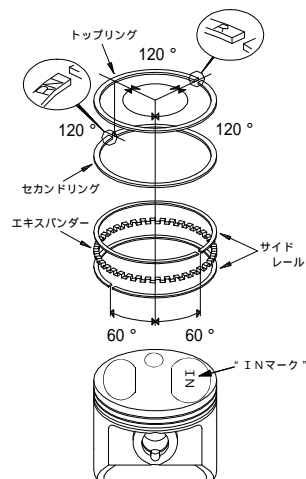
ピストンの片側に付属のピストンピンサークリップをサークリップ溝にきっちりはめ込む。この時、サークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付ける。ピストンサークリップは左側を先にはめ込みます。



ピストンピンサークリップの合い口は、ピストンピン穴の切り欠き部を避け、ピストンに対して上下方向に合わせる。

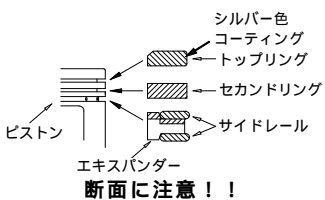


ピストンリング溝にオイルを塗布し、図を参考にして印字マークを上側にピストンリングを取り付け、合い口を合わせます。



トップリングの上面及びセカンドリングの上面には印字マークがあります。

リング側面にシルバー色コーティングがある方がトップリングです。間違わない様に取り付けて下さい。



ピストンリング部及び、ピストン部をエアブローし、異物の噛み込みが無い事を確認する。

リング溝にエンジンオイルを塗布する。



エキスパンダーを入れる。



下サイドレールを入れる。



上サイドレールを入れる。



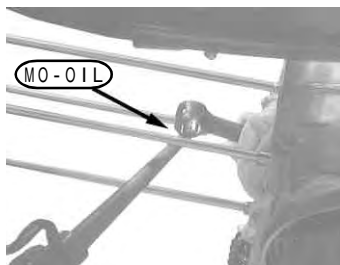
セカンドリング・トップリングを入れる。



ピンボス部にモリブデン溶液を塗布する。



コンロッドのピストンピン部にモリブデン溶液を塗る。



ピストンヘッド"IN"マークを上(インテーク側)になるようにしてピストンを取り付ける。



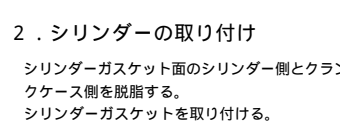
コンロッドとピストンにピストンピンを通す。



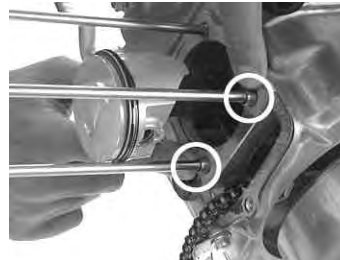
付属のピストンピンサークリップをサークリップ溝に、はめ込む。ピストンピンサークリップの合い口は、ピストンピン穴の切り欠き部を避け、ピストンに対して上下方向に合わせる。



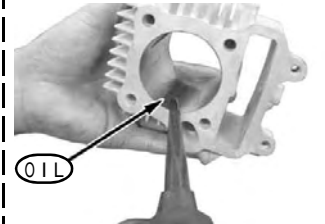
詰めていたウエスを取り外す。



キット内のノックピン8×14を取り付ける。



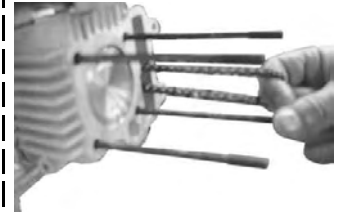
キットのシリンダー内にエンジンオイルを塗布し指で均等に塗り広げる。



シリンダーをピストンリングの合い口がずれない様にながら指で押し少しづつはめる。



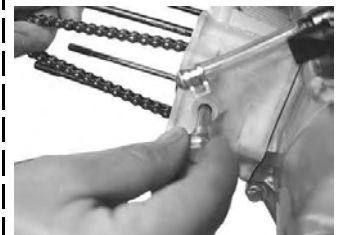
リングがシリンダーに入ったらカムチェーンをサークリップ溝に、はめ込む。ピストンピンサークリップの合い口は、ピストンピン穴の切り欠き部を避け、ピストンに対して上下方向に合わせる。



カムチェーンを引っ張りながらガイドローラーを付ける。シリンダーのガイドローラーボルト穴にガイドローラーのセンターが合う様に押し込む。



ガイドローラーボルトを取り付け、仮締めする。



キット付属のフランジボルト6×2.5を取り付け、仮締めする。



シリンダーヘッドを取扱説明書に従い取り付けます。

オーナーズ/マニュアル

⚠ 警告

このシリンダーマニュアルは基本的な技能や知識を持った人を対象としておりますので、技術、知識の無い方は作業を行わないで下さい。

仕様諸元表

品番	ボアストローク	排気量	圧縮比
01 04 7002	52 × 41.4	88 cm ³	12.0

シリンダー、ピストン整備諸元表

項目		標準	使用限度	備考
シリンダー	歪み		0.05 mm	交換
	内径	52	52.000 ~ 52.015 mm	52.05 mm 交換
ピストン	外径(スカート下端より7mm)	52	51.980 ~ 52.000 mm	51.96 mm 交換
	ピン穴内径		13.002 ~ 13.008 mm	13.03 mm 交換
ピストンピン外径			12.994 ~ 13.000 mm	12.98 mm 交換
ピストンリング合口隙間		TOP	0.15 ~ 0.38 mm	0.50 mm 交換
		2ND	0.20 ~ 0.45 mm	0.50 mm 交換
		OIL	0.20 ~ 0.70 mm	0.90 mm 交換
シリンダーとピストンの隙間				0.06 mm 交換
ピストンとピンの隙間			0.002 ~ 0.014 mm	0.05 mm 交換

トルクの単位記述

1 kgf・m = 9.80665 N・m (ニュートンメートル)

モリブデン溶液 マーク (MO-OIL)

モリブデングリースとエンジンオイル1:1の割合で混合して作る。

モリブデン溶液塗布指示部には、モリブデン溶液、又は、アッセンブリ ペーストを塗布すること。

オーバーホール毎交換品 マーク (NEW)

分解毎に新品と交換する必要がある部品を示すので、必ず交換すること。

エンジンオイル マーク (OIL)

指示部にはエンジンオイルを塗布すること。

オーナーズ/マニュアル

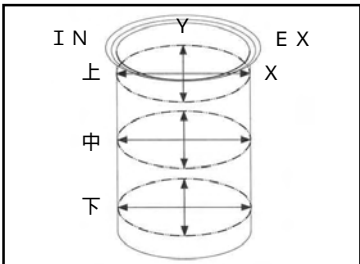
シリンダーの点検

- ・シリンダーの内面の摩耗、損傷を点検する。
- ・ピストンピン方向とその直角軸方向(X - Y方向)に、上、中、下段の6ヶ所でシリンダー内径を測定し、記録する。

最大測定値を内径値とする。

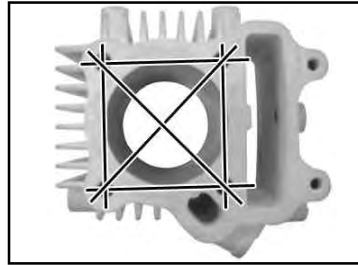
5 2 .0 5 mm以上交換

シリンダーとピストンの隙間を計算して求める。



- ・シリンダーの上面のキズ、損傷を点検する。
- ・シリンダーの上面の歪みをストレートエッジ及びシックスネゲージで点検する。

使用限度：0 .0 5 mm以上交換



ピストンの点検

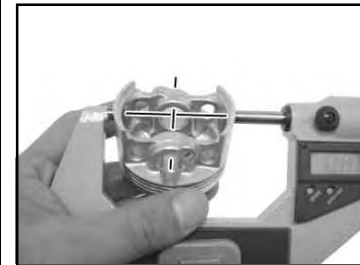
- ・ピストンからカーボンの汚れを取り除く。
- ・ピストンにピストンリングを取り付け、ピストンリングをリング溝に押し込んだ状態で、ピストンリングと、リング溝のクリアランスをシックスネゲージで測定する。

0 .1 7 mm以上交換



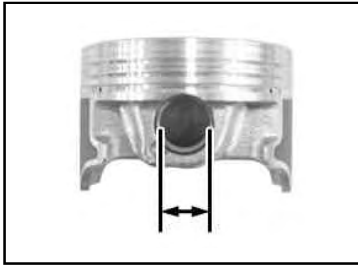
- ・ピストンの外傷を点検する。
- ・ピストン穴に対し、直角の方向でピストンスカート下端から指定の位置でピストンの外径を測定する。

5 2 - 5 1 .9 6 mm以下交換

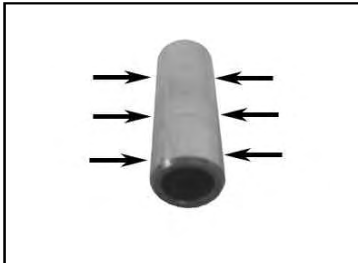


オーナーズ/マニュアル

- ・ピストンピン穴の内径を測定する。
13.03 mm以上交換



- ・ピストンピンの外径を測定する。
ピストンピン使用限度：12.98 mm以下交換



- ・ピストンとピストンピンの隙間を計算して求める。

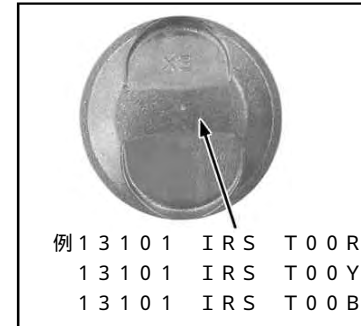
ピストンリングの点検

- ・ピストン頭部でピストンリングを下部に水平に取り付け、合い口のクリアランスをシクネスゲージで測定する。
TOP、2ND - 0.5 mm以上交換
OIL - 0.9 mm以上交換



補足

- ・ピストン単品を新品に交換する場合、ピストン頂面に品番が打刻してある。その打刻No.によりピストンを注文することが出来る。
- ・ピストン頂面に付着したカーボンを取り除き、ピストン頂面に打刻してある品番を確認する。



- ・頂面に打刻してある品番を注文する。



FIリトルカブ・FISーパーカブ R - Stage用 FIコンPLUS 取扱説明書

商品番号： 03 - 05 - 0030

適応車種及びフレーム番号

FIリトルカブ50 : AA01 4000001 ~

FIスーパーカブ50 : AA01 1700001 ~

- ・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

～ 特 徴 ～

FIリトルカブ・FISーパーカブに当社製 R - Stage シリンダーヘッドを取り付ける際に必要となる、FIコンPLUS と、大容量フューエルインジェクタのセットです。

内部に当社オリジナルの点火マップ及び燃料噴射マップを持つ事により、R - Stage ヘッドが持つ性能をフルに引き出すことが出来ます。

本体にロータリースイッチを3つ備えており、それぞれのスイッチにより、

SW1：エンジンリミッター回転数の設定（7000rpm～16000rpmの16段階設定）

SW2：エンジン仕様による、燃料噴射マップの設定

SW3：選択したマップの補正（-10%～+20%の16段階設定）

といったセッティングが可能となります。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により、事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。

この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

商品を加工等された場合や取り付けされた場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

当製品は、上記適応車種の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。

補修部品に付きましてはリペア品番にてお申し込み下さい。尚、不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。

取り付けの際には、工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。

尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは、基本的な技能や知識を持った方を対象としております。

取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へ取り付け作業を依頼されることをお勧め致します。

レブリミッターは12500rpm以上の設定も可能ですが、当社エンジンの許容回転数を超過する為、12500rpm回転以上の設定を使用する場合は、自己責任に於いてご使用下さい。

注意 この内容を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法定速度を守り違法運転を心掛けて下さい。
(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。
(部品の脱落の原因となります。)

警告 この内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。あらかじめご了承下さい。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

~商品内容~



番号	部品名	数量	リペア品番	入数
1	FIコンPLUS Assy.	1	—	—
2	フューエルインジェクタ ASSY.	1	00-00-0271	1
3	サブハーネス 2COMP.	1	00 05 0042	1
4	リセブタクルキャップ(ギボシメス スリーブ)	4	00-00-0270	5 set
5	プラグキャップ(ギボシオス スリーブ)	4		
6	プラグ(ギボシオス端子)	4		
7	リセブタクル(ギボシメス端子)	4		
8	マジックテープセット	1	00-00-0150	1
9	タイラップ 200mm	2	00-00-0269	10
10	タイラップ 150mm	4	00-00-0135	10
11	キャップ 15.5	1	00 00 0284	1
12	キャップ 18	1	00 00 0285	1
13	キャップ 19	1	00 00 0286	1
14	キャップ 25	1	00 00 0287	1

リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。あらかじめご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

~取り付け要領~

はじめに

本商品は、純正のPGM-FIシステムが問題なく作動している事を前提として開発されています。

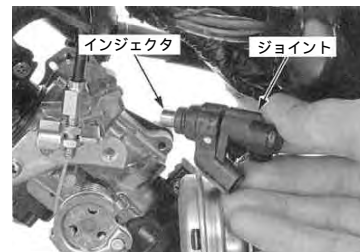
PGM-FIシステム自体にトラブルや不調がある場合は、本商品を取り付けても正しく作動しなかったり、性能が発揮できないばかりでなく、他の箇所が故障する原因にもなりかねませんので、必ずPGM-FIシステムにトラブルが無い事を確認の上で、取り付け作業を行って下さい。

純正部品の取り外し

1. 水平で安全な場所で、センタースタンドを用いる等して車両を安定させます

2. 純正サービスマニュアルを参照し、下記作業を行います。

- ・レグシールドと右サイドカバーをを外します。
- ・フューエルラインに掛かっている燃料圧力を抜きます。
- ・バッテリーからマイナス端子のケーブルを外しておきます。
- ・純正インジェクタのカブラカバーを外し、2Pカブラとボルトを2本取外して、純正インジェクタをスロットルボディから取り外します。
- ・シートとフューエルタンクを取り外します。



△警告：ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

△注意：フューエルラインのクイックコネクターは外しませんが、ホースが折れ曲がらない様に作業して下さい。

3. 純正ハーネスの、スロットルボディセンサカブラ(5P)・油温センサカブラ(2P)・イグニッションコイルに接続されている桃/青ハーネスは使用しませんので、それぞれ接続を外します。

4. スロットルボディセンサカブラ(5P)にキャップ 25、油温センサカブラ(2P)にキャップ 18を被せ、タイラップで固定するなどして、車両をノーマルに戻す際に使用出来るようにしておきます。

⚠注意：使用しない配線類もノーマルに戻す際は必要になりますので、切断しないで下さい。

5. 取り外した純正ハーネスのフューエルインジェクタカブラから出ているコード色を確認します。
キット付属のサブハーネス - 2COMP .に接続したときにコードの色が逆になっている場合は、下記手順に従ってコードの入れ替え作業を行って下さい。

⚠注意：コードの色が逆になったままではF Iコンに電源が入りませんので、エンジンは始動しません。

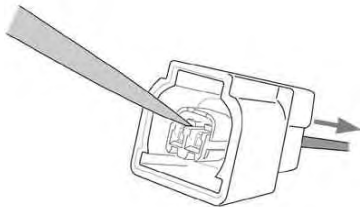
フューエルインジェクタカブラのコード入れ替え手順

a. 小型のマイナスドライバー等を用いて、純正カブラからリテーナー(グレーのプラスチック部品)を取り外します。



b. 細い針状の物等を用いて、純正カブラ内部のターミナルを固定しているツメを少しだけ起こしながら、カブラからコードを1本ずつ引抜きます。

この時、コード側のリテーナーとラバーシールは外す必要はありません。



c. キット付属のサブハーネス - 2COMP .に接続したときに、同じ色のコード同士が接続するようにカブラへコードを挿し込み直し、リテーナーを元通り押し込みます。



⚠注意：ターミナルの上下向きを間違えると、カブラにターミナルが入って行きません。上下向きを間違えない様に挿し込んで下さい。

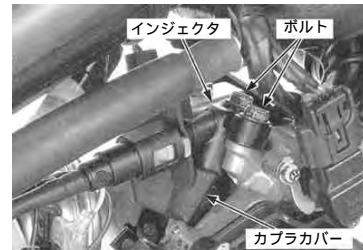
F IコンPLUSの取り付け

1. 本キット付属のインジェクタの両端に付いているラバーキャップを外し、Oリング部にエンジンオイルを塗布します。
取り外したラバーキャップは純正インジェクタに取り付け、車両をノーマルに戻す際に使用出来るように保管しておいて下さい。



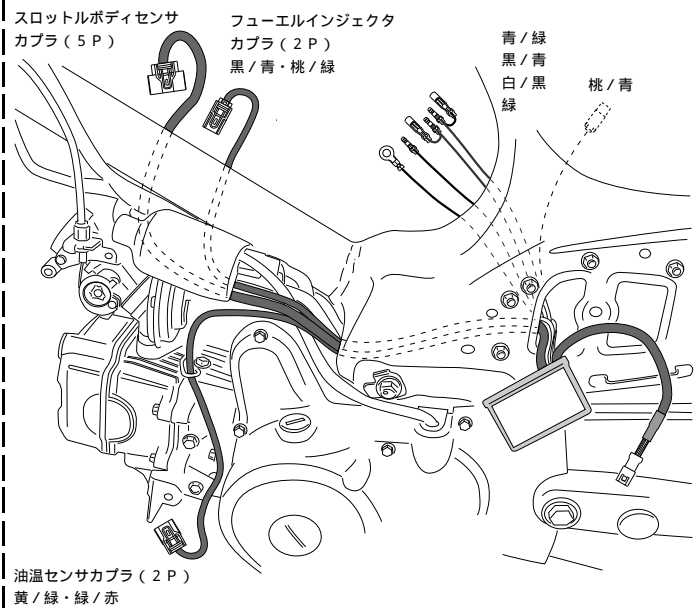
2. インジェクタを、純正インジェクタジョイントに取り付けます。
3. スロットルボディに、インジェクタを取り付け、ボルト2本を規定トルクで締め付けます。

トルク：5.1N・m(0.52kgf・m)

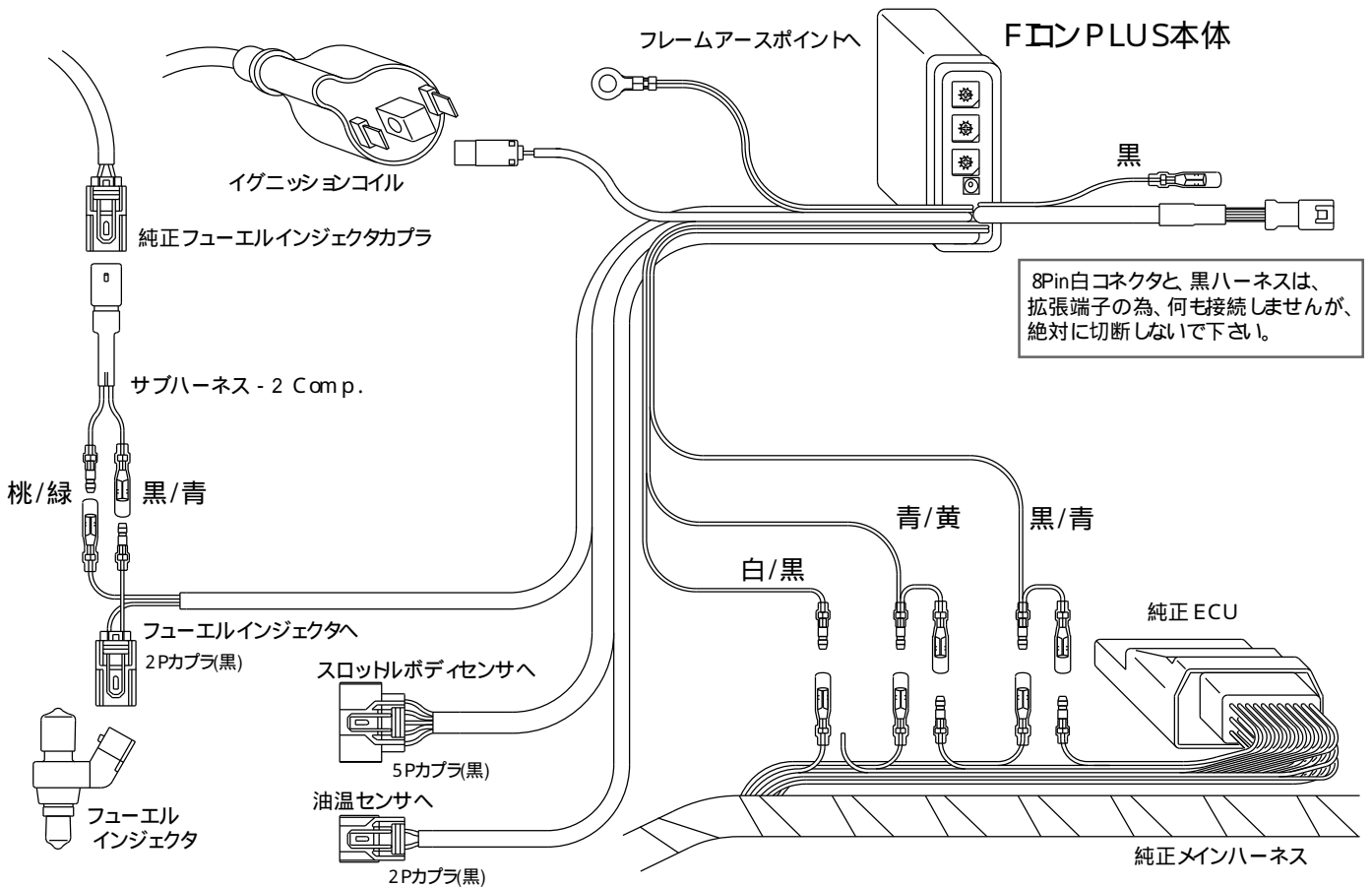


4. F IコンPLUSの取り付け・配線作業を行います。
まずは図を参照しながら各ハーネスを車両に這わせませ。尚、エンジンマウントボルトを一旦抜き取り、クランクケース上部とフレームの間に、スロットルボディセンサカブラ・フューエルインジェクタカブラ・油温センサカブラの3本を通すと、ハーネスが外部に露出しませ。

⚠注意：エンジンとフレームでハーネスを挟み込まない様に十分注意して作業を行って下さい。



5. 図中番号の順に、注釈を確認しながら作業を行って下さい。



フレームアース

右サイドカバー内、バッテリーの前側のリレーを一旦取り外します。



リレーに隠れていたスクリューと、フレームアースコードを共締めし、リレーを元通り取り付けます。



イグニッションコイル

フューエルタンクの下部フレーム内にあります。純正の黒/青ハーネスは接続したまま、純正の桃/青ハーネスをFIコンPLUSの桃/青ハーネスに差し替えます。

純正フューエルインジェクタカブラ

FIコンPLUS本体のフューエルインジェクタへ接続する2Pカブラ部分のギボシ端子に、キット付属のサブハーネス 2COMP を接続し、サブハーネスのカブラを純正ハーネスのフューエルインジェクタカブラに接続します。

純正メインハーネス

右サイドカバー内にて、純正ハーネスから純正ECUへ分岐している配線束がありますが、ギボシ端子を取り付け出来る様に、配線を束ねているビニールテープ等を切り開いて取り除きます。

白/黒ハーネス

純正ハーネスの白/黒ハーネスを切断し、純正ECU側には何も接続しませんが、ショート等しない様にビニールテープを巻くなどして絶縁しておきます。

メインハーネス側にメスギボシ端子を取り付け、FIコンPLUSの白/黒ハーネスと接続します。

青/黄ハーネス

純正ハーネスの青/黄ハーネスを切断し、純正ECU側にオスギボシ端子を取り付け、メインハーネス側にメスギボシ端子を取り付け、FIコンPLUSの青/黄ハーネスを両方も接続します。

黒/青ハーネス

純正ハーネスの黒/青ハーネスを切断し、純正ECU側にオスギボシ端子を取り付け、メインハーネス側にメスギボシ端子を取り付け、FIコンPLUSの黒/青ハーネスを両方も接続します。

8Pin白コネクタ・黒ハーネス

8Pin白コネクタと黒ハーネスは拡張端子の為、現在は何も接続しませんが、絶対に切断しないで下さい。

フューエルインジェクタ・スロットルボディセンサ・油温センサの各カブラを、それぞれ確実に接続します。

6. 配線を接続し終わりましたら、間違いがないか確認してフューエルタンクとシートを元通り組み付けます。
問題なければバッテリーマイナス端子のケーブルを接続します。
△注意：フューエルタンクへの配管を接続するまでは、絶対にキーをONにしないで下さい。
ガソリンがフューエルポンプから噴出する恐れがあります。
7. F IコンPLUS本体は、左サイドカバー内にキット付属のマジックテープやタイラップを用いて固定して下さい。
△注意：固定する際はなるべく雨等の水が掛かりにくい場所を選び、また水等がスイッチ内に浸入しにくい様に、F IコンPLUS本体のロータリースイッチが上(天)を向かない様に固定して下さい。

動作確認

1. 配線に問題がないか、一度イグニッションキーをONにします。
キーをONと同時に、下記動作が行われているか確認して下さい。
・エンジンチェックランプが1秒程度点灯して消える。
・フューエルポンプが2～3秒程度作動する。
△注意：キーをONにするだけで、エンジン始動はしないで下さい。
2. 上記の通り作動している場合は、次の項目[初期設定]に進んで下さい。
上記の通り動作しない場合は、下記項目に従い点検を行って下さい。
問題が解決しなければエンジンは始動しません。
- ・キーONでF IコンPLUS本体の電源LED(緑色)が点灯しない場合。
純正インジェクタカブラのコードの入れ替えが正しく行われているか確認する。
フレームアースが確実に接続されているか確認する。
バッテリー電圧が正常か確認する。
ヒューズが切れていないか確認する。
 - ・エンジンチェックランプが点滅し続ける場合
白/黒の配線が、切断したメインハーネス側に正しく接続されているか確認する。
油温センサーカブラが抜けていないか確認する。
 - ・エンジンチェックランプが2回点滅する場合
バッテリーの電圧が低い場合(約11V以下)は、2回点滅します。
バッテリーの状態を点検し、必要に応じて充電若しくは交換して下さい。
また、セル付き車の場合、バッテリー電圧が低い時はセル始動では始動が困難となりますので、キックで始動するか確認を行って下さい。
 - ・エンジンチェックランプが点灯しない場合
白/黒の配線が、切断したメインハーネス側に正しく接続されているか確認する。
エンジンチェックランプが球切れしていないか確認する。
 - ・フューエルポンプが動作しない場合
燃料圧力を抜いた際に、フューエルポンプのカブラが外れたままになっていないか確認する。
純正のフューエルインジェクタコネクタを切断して接続している配線に、間違いが無いか確認する。

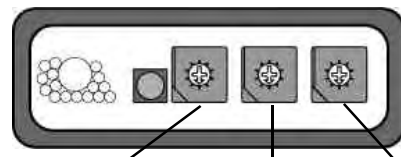
初期設定(スロットルポジションセンサの学習)

- ・車両に取り付けた初回や、スロットルの全閉位置を調整した場合等は、スロットルポジションセンサの全閉・全開位置を内部メモリに学習する作業が必要になります。
下記手順に従って作業を行って下さい。
- 1. キーがOFFになっている事を確認し、油温センサカブラをセンサから外し、何も接続しない状態にします。
- 2. キーをONにします。
- 3. エンジンチェックランプが点滅し続ける事を確認して下さい。
(約0.5秒点灯 約0.5秒消灯の繰り返し)
- 4. スロットルをゆっくりと全開にし、全開のまま1秒程度保持し、ゆっくりと全閉に戻します。
- 5. 油温センサカブラをセンサに接続します。
- 6. エンジンチェックランプの点滅が止まり、消灯する事を確認して下さい。
- 7. キーを一度OFFにします。
- 8. 以上の作業でスロットルポジションセンサの全閉・全開位置を学習します。

！ポイント！ 学習した内容はバッテリーの接続を外しても消えませんが、作業は基本的に初回のみですが、何らかの要因によりF IコンPLUSの作動が不安定に陥った場合、上記学習作業を再度行う事でトラブルが解消される場合があります。

ロータリースイッチの設定

- ・F IコンPLUSはロータリースイッチを3個搭載しており、それぞれリミッター回転数・マップの種類・マップの補正値を設定する事が出来ます。
下記表を参照し、ご使用になるエンジン仕様に合わせて設定を行って下さい。



設定	SW 1	SW 2	SW 3
	リミッター回転数の選択	マップの選択	燃料マップの補正量
0	7 0 0 0	-	1 0 %
1	8 0 0 0	-	8 %
2	9 0 0 0	-	6 %
3	1 0 0 0 0	-	4 %
4	1 0 5 0 0	-	2 %
5	1 1 0 0 0	CNR10	0 (基準)
6	1 1 5 0 0	-	+ 2 %
7	1 2 0 0 0	-	+ 4 %
8	1 2 5 0 0	-	+ 6 %
9	1 3 0 0 0	-	+ 8 %
A	1 3 5 0 0	-	+ 1 0 %
B	1 4 0 0 0	-	+ 1 2 %
C	1 4 5 0 0	-	+ 1 4 %
D	1 5 0 0 0	-	+ 1 6 %
E	1 5 5 0 0	-	+ 1 8 %
F	1 6 0 0 0	-	+ 2 0 %

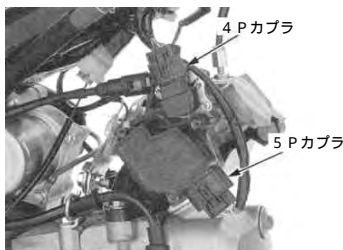
マップの種類 - 適応エンジン仕様

マップの種類	適応車種	適応スロットルボディ	適応エンジン仕様	適応カムシャフト
CNR10	FIスーパーカブ FIリトルカブ	純正	R-Stage	F-10

- △注意1：12500rpm以上の設定は、当社エンジンの許容回転数を超える為、ご自身の責任に於いてご使用下さい。
オーバーレブによるトラブルは、一切クレームの対象となりませんのでご注意下さい。
- △注意2：マップの内容が[-]となっている物を選択した場合、5番と同じ設定となります。
- △注意3：マップ補正量は、全域に反映されます。
特に減量側(マイナス側)の設定は、エンジン仕様によってはトラブルの原因となりかねませんので、A/F計を取り付けた上で、慎重にご使用下さい。
エンジンセッティングに関する知識の無い方は使用しないようにして下さい。

IACバルブについて

1. IACバルブの4P(黒)カブラが正しく接続されている事を確認し、キーをONにすると、数秒間IACバルブの作動音がします。



2. 作動音がしなくなったら、キーをOFFにし、IACバルブの4P(黒)カブラの接続を外し、IACバルブのカブラ部にキャップ 15、5、ハーネス側のカブラにキャップ 19を被せて、カブラ開口部を塞いでおきます。

△注意：FIコンPLUS使用時は、IACバルブを使用しませんが、何らかの理由により動作不調になった場合や、スロットルボディを交換した場合等には、再度接続する必要がありますので、ハーネスは切除しないで下さい。

△注意：FIコンPLUSは、純正のIACバルブを利用せずアイドルリング回転数を制御しますので、IACバルブのカブラは外したままで使用します。
FIコンPLUS使用時に、IACバルブを動作させるとアイドルリングが不安定になったり、低くなりすぎたりします。

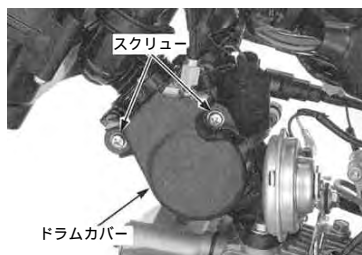
始動確認

△警告：エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)

1. ここではまず、ロータリースイッチの設定を SW1...0 / SW2...5 / SW3...5 と設定します。
2. キーをONにし、フューエルポンプの作動音が止まればキーをOFFにする作業を数回繰り返します。
(フューエルラインのガソリンが抜けている為、ガソリンを送り込みます。)
3. キーをONにしエンジンを始動します。
△注意：始動時はスロットルを全開～微開にて行って下さい。
スロットルを開けながら始動しようとしても、エンジンは始動しません。
4. エンジンが始動したら、エンジン油温が約70℃以上になるまでしっかりと暖機します。
5. アイドリング回転数を確認します。
規定アイドルリング回転数 $1850 \text{rpm} \pm 50 \text{rpm}$
アイドルリング回転数が規定から外れている場合は、アイドルリング調整の項目を参照し、調整を行って下さい。
△注意：冷間時はアイドルリング回転数を高く保つ制御をしています。
必ず暖機終了後に確認を行って下さい。

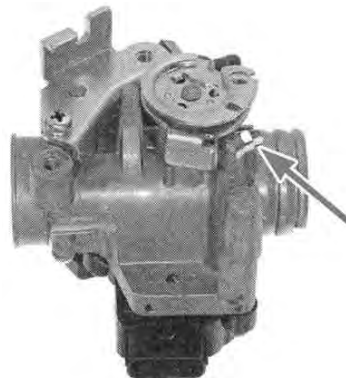
アイドルリング調整

1. スロットルボディのドラムカバーを固定しているスクリュー2本を取り外し、カバーを取り外します。



2. スロットルボディのストッパースクリュー(白色ペイントで固定されているスクリューとナット)を固定しているナットを緩め、スクリューを1/8回転程度ずつ回転させ、ナットを締め付けます。
スクリューを締め込む方向に回転させるとアイドルリング回転数は上がり、スクリューを緩める方向に回転させるとアイドルリング回転数は下がります。

△注意：マフラーやエンジン等で火傷をする恐れがありますので、作業は冷間時に行ってください。



3. スロットルポジションセンサの学習作業を再度行います。
△注意：ストッパースクリューを回転させてスロットルの全開位置が変わった場合は、必ず毎回スロットルポジションセンサの学習作業を行ってください。
4. エンジンを始動しアイドルリング回転数を確認します。
規定アイドルリング回転数になるまで、上記2～4の作業を繰り返して調整を行ってください。
△注意：ストッパースクリューを締め込み過ぎても、逆にアイドルリングは安定しなくなります。
△注意：走行後等にアイドルリング回転数が高めになってしまう場合は、アイドルリング調整を行った時のエンジン暖機が不十分だった事が原因として考えられます。
スクリューを緩める方向に回転させて、再度スロットルポジションセンサの学習を行い、アイドルリング回転数の確認を行ってください。

外装の復旧

作業が終わりましたら、タイラップで適宜配線を固定し、組み付けの為に取り外したレッグシールドなどの外装類を組み付けます。

△注意：外装を取り付ける際に、配線類の挟み込み等が無い様に十分確認しながら組み付けを行ってください。

トラブルシューティング

F I コ ン プ ル ス 取 り 付 け 後、不 具 合 を お 感 じ に な ら れ ま し た ら、ま ず は 下 記 表 か ら、該 当 す る 症 状 に 応 じ た 項 目 を 点 検 し て 下 さ い。

不 具 合 症 状	点 検 箇 所 対 処 方 法
<p>エンジンが始動しない</p>	<p>エンジンの組み付け自体に問題はありませんか？</p> <p>エンジンが正しく組み付けられているか、バルブタイミングやタペットクリアランスに問題が無いが確認して下さい。</p> <p>キーON時に、F I コ ン プ ル ス 本 体 の 緑 L E D が 点 灯 し、エ ン ジ ン チ ェ ッ ク ラ ン プ が 1 秒 程 度 点 灯 し た 後、消 灯 し て い ま す か？</p> <p>動作確認 の項目に従い、配線を点検して下さい。</p> <p>エンジン組み付け後、初めての始動ですか？</p> <p>フューエルインジェクタを脱着している為、フューエルライン内にエアが残っている場合があります。その為、初回始動時はエンジンが始動しにくい場合があります。</p> <p>数回キック（セルでクランキング）してもエンジンが始動しない。</p> <p>一度キーをOFFにし、再度キーをONにしてから、始動してみてください。</p> <p>スロットルを開けながら始動していませんか？</p> <p>F I コ ン プ ル ス は ク ラ ン キ ン グ 時 に 発 生 す る 吸 気 負 圧 を 制 御 に 利 用 し て い ま す の で、ス ロ ッ ト ル を 開 け な が ら 始 動 し て も、エ ン ジ ン は 始 動 し ま せ ぬ。必 ず 全 閉 ~ 微 開 に て 始 動 を 行 っ て 下 さ い。</p>
<p>アイドリングが持続せず、ストールする</p>	<p>初期設定（スロットルポジションセンサの学習）を実施されましたか？</p> <p>初期設定を再度実施してみてください。アイドリング調整を行った場合も、毎回必ず実施して下さい。</p> <p>マップ選択スイッチや、マップ補正スイッチが適正なセッティングになっていますか？</p> <p>スイッチの設定を再確認して下さい。特にマップ補正スイッチは5番が基準となっていますので、ご注意ください。</p> <p>I A C バ ル ブ の 接 続 を、正 しく 外 し て い ま す か？</p> <p>F I コ ン プ ル ス は、純 正 の I A C バ ル ブ の カ プ ラ を 外 し た ま ま で 使 用 し ま す。必 ず、キ ー を O N に し 作 動 音 が し な く な っ た 位 置 で カ プ ラ の 接 続 を 外 し、外 し た ま ま で ご 使 用 下 さ い。</p>
<p>スロットルを開けても回転が上がらない / アイドリングするが、スロットルを開けるとストールする</p>	<p>リミッター回転数の設定スイッチは問題ありませんか？</p> <p>SW1のリミッター回転数の選択次第では、7000rpmからリミッターがかかります。選択されている設定に問題がないか確認して下さい。</p> <p>初期設定（スロットルポジションセンサの学習）を実施されましたか？</p> <p>初期設定を再度実施してみてください。アイドリング調整を行った場合も、毎回必ず実施して下さい。</p>

株式会社 **SPECIAL PARTS** 武 川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号 TEL 0721-25-1357 FAX 0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>
お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857



スーパーカブ・リトルカブ (F I)

純正スロットルボディ用 エアフィルターキット 取扱説明書

商品番号：03-01-1107

適応車種及びフレーム番号

HONDA

スーパーカブ(F I) : AA01-1700001 ~

リトルカブ(F I) : AA01-4000001 ~

- ・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

～ 特 徴 ～

スーパーカブ・リトルカブの F I 車専用に設計された形状により、純正スロットルボディにジャストフィットします。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
商品を加工等された場合や取り付けされた場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

当製品は、スーパーカブ・リトルカブの F I 車専用です。

スーパーカブ・リトルカブでもキャブレター車や、他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。

ブローバイガス還元タイプの為、エンジンオイルなどによりフィルターが目詰まりし易いので、約1000km走行毎に点検を行い、目詰まりした場合はフィルターを交換して下さい。

そのまま使用された場合、性能低下につながりますのでご注意ください。

補修部品に付きましてはリペア品番にてお申し込み下さい。尚、不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。

注意 この内容を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。
(部品の脱落の原因となります。)
- ・このフィルターを取り付けての雨天走行は出来ません。(エンジン不調やトラブルの原因となります。)

警告 この内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。あらかじめご了承下さい。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

~ 商 品 内 容 ~



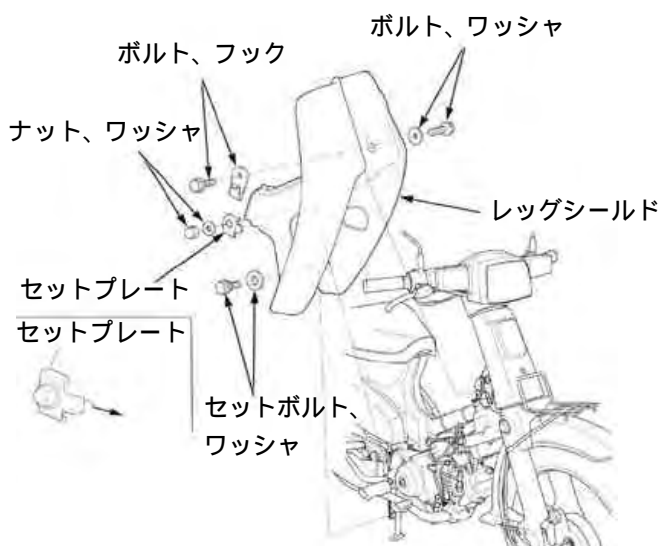
番号	部 品 名	数量	リペア品番	入 数
1	エアフィルター Comp.	1	—	1
2	フィルターパイプ	1	00-00-0280	1
3	クランプバンド	1	00-00-0014	1
4	Lジョイント 10mm	1	00-03-0207	1
5	ブレードホース 50mm	1	00-00-0049	1 set
6	ホースクランプ 13.1	2		

リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。あらかじめご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

~ 取 り 付 け 要 領 ~

純正エアクリーナーケースの取り外し

1. 水平で安全な場所で、センタースタンドやメンテナンススタンド等を用いて車両を安定させます。
2. スクリュー・ナット類を取り外し、レッグシールドを取り外します。



3. スロットルケーブルをエアダクトの溝から取り外します。



4. クランクケースブリーザーホースの接続を外します。
5. スロットルボディ側のバンドスクリューを緩め、エアクリーナーケースをフレームに固定しているボルト2本を取外し、エアクリーナーケースを車両から取り外します。

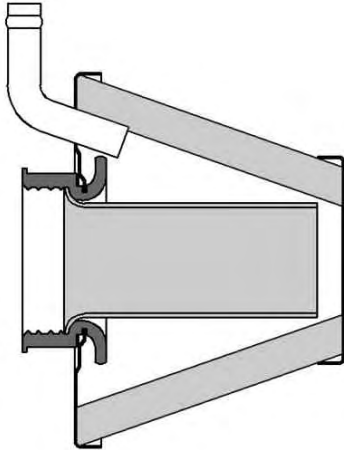


エアフィルターの取り付け

1. ご使用になる車両が、ノーマルエンジン（排気量が50cc）の場合は、必ずエアフィルターComp.内にキット付属のフィルターパイプを下図のように入れて下さい。

S - S t a g e組み込み済み車両の場合は、フィルターパイプの取り付けは不要です。

- △注意：ノーマルエンジンの場合は必ずフィルターパイプを取り付けて下さい。フィルターパイプ無しで取り付けられますと、エンジンに対して吸気効率が向上しすぎる為、空燃比が薄くなりすぎ、エンジンに損傷を及ぼす可能性があります。



2. エアフィルターComp.のラバーにクランプバンドを通してから、純正スロットルボディに取り付けます。
この時、フィルターキャップのT A K E G A W Aロゴが水平になる様にして下さい。
3. 純正のクランクケースブリーザーホースに、キット付属のLジョイントを接続します。
この時、純正のホースクリップが取り付けられている事を確認して下さい。
4. 接続したLジョイントに、ブレードホース50mmを接続し、ホースクランプを2個通します。
5. ブレードホース50mmをエアフィルターComp.のホースユニオンに接続します。
6. フィルターの角度やホース類の取り回しを確認し、フィルターとスロットルボディを固定しているクランプバンドを締め付け、ホースクランプでブレードホースを固定します。

- △注意：フィルターは、しっかりと奥までスロットルボディに差し込んで下さい。

特にフィルターパイプを使用されている場合、差し込みが浅いと、フィルターパイプがフィルター内で動いてしまい、異音やアルミ粉が発生する原因となります。



7. レッグシールドを取り外した逆手順で元通り組み付けます。

参考セッティング

ノーマルエンジン車両の場合

エンジン仕様	F I コン設定
エアフィルターキット + ノーマルマフラー	F I コン不要
エアフィルターキット + 当社製 ボンバーマフラー	F I コン不要

- ・ノーマルエンジン車両に取り付ける場合は、必ず付属のフィルターパイプを取り付けて下さい。

S - S t a g eキット組み込み車両の場合

エンジン仕様	F I コン設定
エアフィルターキット + ノーマルマフラー	9
エアフィルターキット + 当社製 ボンバーマフラー	F

株式会社 **SPECIAL PARTS** 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721 25 1357

FAX 0721-24-5059

お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857

URL <http://www.takegawa.co.jp>